

コンゴ(民)月例報告
政治関連
2019年1月

主な出来事

- 3日、ナンガー独立国家選挙委員会(CENI)委員長は、6日に予定している大統領選挙暫定結果の発表の延期を検討していると述べた。
- 4日、ホワイトハウス報道官は米上院及び下院議長へ宛てた同日付書簡で、米陸軍が約80名の米兵を、ガボンのリーブルビルに派遣したと発表した。
- 10日、CENIは、大統領選挙の暫定結果に関し、得票率38.57%でフェリックス・チセケディ候補が当選したと発表した。
- 12日、CENIは、国民議会の議席数500のうち、選挙が延期された4選挙区(ベニ選挙区、ベニ市、ブテンボ市、ユンビ選挙区)の議席数15を除く485議席の暫定結果を発表した。カビラ大統領派が過半数の議席を獲得し、これにより、フェリックス・チセケディはカビラ大統領派の首相と共存することとなる。
- 12日、ファユル候補の弁護を務めるエコンベ弁護士は記者団に対し、同候補は、「フェリックス・チセケディ候補を当選者とする暫定結果を取り消すよう求める異議申し立てを11日に憲法裁判所に行った」と発表した。同候補は、自身が61%の得票で当選したと主張している。
- 20日、憲法裁判所は、フェリックス・チセケディ UDPS 党首を第5代大統領とすると宣言した。
- 24日、チセケディ新大統領の宣誓式が大統領府で行われ、ケニヤッタ・ケニア大統領をはじめ、アフリカ各国の政府要人及び駐コンゴ(民)の各国大使等が出席した。
- 28日、国民議会は、今回の当選者中最年長のクング UNAFEC 党首を暫定議長とし、議員任期の認証と内規策定のための特別会期を開始した。
- 29日、CENIは総会で、当初3月6日に予定されていた上院議員選挙を同月14日に、また当初3月18日に予定されていた州知事及び副州知事選挙を同月26日に延期する決定を行った。

1. 選挙関連

(1) 大統領選挙暫定結果の発表延期

- ・3日、ナンガー独立国家選挙委員会(CENI)委員長は AFP に対し、6日に予定している大統領選挙暫定結果の発表の延期を検討していると伝えた。主な理由として、開票結果記入用紙(proces-verbal)の収集は二日間では不可能であり、また、投票機器はすべての接続を切断したため、開票結果の集計は手作業で行っていること等を挙げた。
- ・6日、ナンガーCENI 委員長は記者会見で、同日の大統領選挙暫定結果の発表は行われないと述べた。新たな日程には触れなかった。同委員長によると、3日の時点で20%だった開票率は、6日には53%と、約半数をすこし上回った程度であり、国民に対し、すべての結果を集計する間忍耐するように求めた。

(2) 大統領選挙の暫定結果発表

- ・10日、国営テレビ・ラジオ局(RTNC)は午前2時50分から、昨年12月30日に行われた大統領選挙に関するCENIの暫定結果発表の様子を放映し、得票数7,051,013票(38.57%)でフェリックス・チセケディが当選したと発表した。次点はマルタン・ファユル候補で得票数6,366,732

票(34.83%)、与党候補のエマニュエル・ラマザニ・シャダリは得票数4,357,359票(23.84%)で3位だった。

(3) 国民議会選挙の暫定結果発表

・12日未明、CENI は、国民議会の議席数500のうち、昨年12月30日の選挙が延期された4選挙区(ベニ選挙区、ベニ市、ブテンボ市、ユンビ選挙区)の議席数15を除く485議席の暫定結果を発表し、カビラ大統領派が過半数の議席を獲得した。AFP のとりあえずの算出では、(所属が判明している)429議席のうち288議席が大統領多数派(MP)で、141議席が野党であった。カビラ大統領の PPRD が48議席、PPRD の衛星政党でモヴァ副首相兼内務相の PPPD が20議席を獲得した。一方で、フェリックス・チセケディの UDPS は32議席で、これにより、フェリックス・チセケディはカビラ大統領派の首相と共存することとなる(12日付 AFP)。

(4) 憲法裁判所による大統領選挙最終結果発表

・20日午前1時過ぎ、憲法裁判所は、コンゴ(民)初の平和的政権交代により、フェリックス・チセケディ UDPS 党首を第5代大統領と宣言した。

(5) チセケディ新大統領の宣誓式

・24日、チセケディ新大統領の宣誓式が大統領府で行われ、ケニヤッタ・ケニア大統領をはじめ、アフリカ各国の政府要人及び駐コンゴ(民)の各国大使等が出席した。

(6) 新旧大統領の引継ぎ式

・25日、カビラ前大統領とチセケディ新大統領の引継ぎ式が行われた。

(7) 選挙日程(上院議員、州知事及び副州知事)の一部変更

・29日、CENI は総会で、当初3月6日に予定されていた上院議員選挙を同月14日に、また当初3月18日に予定されていた州知事及び副州知事選挙を同月26日に延期する決定を行った。

2. 内政

(1) 仏 RFI 特派員の記者証剥奪

・2日、メンデ・メディア大臣は、RFI のモリス特派員(Florence Morice 記者)の記者証を剥奪したと伝えた(当館注:同記者は、禁止されているにもかかわらず、CENIが選挙結果を発表する前に、ファユル候補が当選するだろうと SNS で発信した模様(2日付 AFP))。なお、同記者は3日夜にキンシャサを後にした。

(2) 野党側テレビ局 CCTV の電波切断

・2日、メンデ・メディア大臣は、野党プラットフォーム「Lamuka」を支援するベンバ MLC 党首が所有するテレビ局 CCTV が、公式発表前に選挙結果を発表したとして、同局の電波を切断したと発表した(2日付 AFP)。

(3) 恩赦による野党側受刑者2名の釈放

・3日、客年12月29日に放送されたカビラ大統領の年末の演説に関連し、ムルンバ元州議会議員(Gerard MULUMBA, 通称 Gecoco)とムヤンボ弁護士(Jean Claude MUYAMBO)の、野党側受刑者2名が釈放された。司法省によると、今回の恩赦は200名に対し適用された。

(4) カビラ大統領とコンゴ・カトリック司教会議(CENCO)の会談

・4日、カビラ大統領は、ウテンビ CENCO 議長を含む CENCO メンバーと、選挙をめぐる状況等について会談を行った。

(5) コンゴ(民)国家警察(PNC)報道官による大統領選挙暫定結果発表後の国内治安状況

・ムワナムプトゥPNC報道官は、10日未明に大統領選挙の暫定結果が発表された後の国内の治安状況について、「キンシャサ市では3名が死亡(うち2名は警察官)、15名が負傷し、クウィル州キクウィット市では、5名の市民が死亡した」等発表した(12日付 ACP)。

(6) インターネット及び SMS の復旧

・19日夜、昨年12月31日から切断されていたインターネット及び SMS が復旧した。

(7) 国民議会特別会期の開始

・28日、国民議会は、今回の当選者中最年長のキュング UNAFEC 党首を暫定議長とし、議員任期の認証と内規策定のための特別会期を開始した。

(8) 野党の動向

ア ファユル候補の動向

・12日、ファユル候補の弁護を務めるエコンベ弁護士は記者団に対し、同候補は、「フェリックス・チセケディ候補を当選者とする暫定結果を取り消すよう求める異議申し立てを11日に憲法裁判所に行った」と発表した。同候補は、61%の得票で当選したと主張し、カビラ大統領を非難している。

・12日、オー・カタンガ州カセンガ(Kasenga, ルブンバシ市の北120キロ)で、ファユルの支持者約120名が逮捕されたと、複数の市民社会関係者が述べた。

・20日、憲法裁判所がフェリックス・チセケディ UDPS 党首を第5代大統領と宣言したことに対し、落選したファユル候補は、「今後は私(ファユル候補)のみが唯一の正統な大統領であるとみならず」、「国際社会が一致して、正当性も法的資格もない政権を認めないよう求める」等コメントした。

イ ファユル ECiDe 党首とチセケディ新大統領双方の支持者の衝突

・21日、キンシャサ市の ECiDe 党本部及び MLC 州本部前広場(当館注:国会議事堂前の広場の一部)に集まったファユル ECiDe 党首の支持者と、バイクタクシーの運転手(当館注:キンシャサ市のバイクタクシーの運転手の多くが、チセケディ新大統領の支持基盤であるグラン・カサイ地域出身者)の間で短い衝突が発生した。ファユル党首の支持者約300名が、バイクタクシーの一群を捕まえ、彼らに投石を行い、1名の運転手が重傷を負った(21日付 AFP)。

3. 東部及び大湖地域情勢

(1) 北キブ州ベニ地区情勢

・8日、ハズカイ・コンゴ(民)国軍(FARDC)報道官は、ベニ地区北部のマヴィヴィ(Mavivi)で7日夜から8日にかけて ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)とみられる集団が襲撃を行い、軍人の家族を含む、少なくとも10名の市民が殺害されたと報じた(8日付 AFP)。

・9日深夜から10日未明にかけて、ベニ地区で ADF と見られる集団が FARDC の陣地を襲撃し、市民7名と兵士3名が死亡した(10日付 AFP)。

(2) イツリ州情勢

・22日、FARDC はマンバサ地区のマイマイ・シンバ(マイマイは自警団的な性格をもった武装集団)を攻撃し、同集団の指導者であるマニュ(本名不詳)を含む7名の民兵を殺害したと発表した(22日付 AFP)。

4. その他地域情勢

マイ＝ンドンベ州

・バチレ国連人権高等弁務官はコミュニケで、昨年12月16-18日にマイ＝ンドンベ州(旧バンドゥンドゥ州の一部)ユンビ地区の4つの村で発生した、バヌヌ族(Banunu)とバテンデ族(Batende)

による部族紛争で、少なくとも890名が死亡したと発表した。負傷者は少なくとも82名で、今後さらに増加する可能性がある。これに加え、465の家屋が放火もしくは略奪にあい、被害のあった村の住民のほとんど(約16,000名)がコンゴ(共)に逃れている。

5. その他

(1) インターネット切断等に関する一部欧米諸国大使の表明

・1日、当地一部欧米諸国(米、スイス、カナダ、EU、仏、オランダ、英、ベルギー、スウェーデン)の大使は、政府にインターネット及びメディアを切断しないこと等を求める声明を発表した。

(2) 米軍がガボンに兵員を派遣

・4日、ホワイトハウス報道官は米上院及び下院議長へ宛てた同日付書簡で、米陸軍が、キンシャサの米国市民、職員及び外交施設の安全確保を支援するため、約80名の米兵を、ガボンのリーブルビルに派遣したと発表した。米兵の派遣は、客年12月30日に実施されたコンゴ(民)の選挙後に予想される暴力的な抗議行動に対処するため、必要に応じコンゴ(民)もしくはコンゴ(共)に追加派遣される。

(3) クウィル州キクウィットで大統領選挙暫定結果への抗議行動で6名が死亡

・10日、同日午前3時に行われた大統領選挙暫定結果の発表を受け、落選したファユル候補の地元クウィル州(旧バンドゥン州の一部)キクウィットで抗議行動が発生し、警官2名と市民4名が死亡した(10日付 RFI)。

(4) ザンビアが大統領選挙の再度集計に言及

・13日、SADC 政治・防衛・安全保障トロイカの議長国であるルング・ザンビア大統領は、コンゴ(民)政府に対し、大統領選挙の票集計を再度行うこと等を求めるコミュニケを発出した(13日付 AFP)。

(5) AU 関係国首脳会合

・17日、AU、SADC 及び ICGLR 関係国首脳は AU 本部で会合を行い、コンゴ(民)の大統領選挙の最終結果発表を延期するよう求めた。また、21日にムーサ・ファキ AUC 委員長、カガメルワンダ大統領(AU 議長)からなる代表団をコンゴ(民)に派遣すると発表した(当館注:結果的に、同代表団はコンゴ(民)訪問を取り止めた)。

(6) 大湖地域担当国連事務総長特使の任命

・22日、国連事務総長は、Huang Xia 氏(中国出身)を、サイド・ジニット(アルジェリア出身)大湖地域担当国連事務総長特使の後任として任命した旨発表した。